

第2章 鹿児島本線（博多～下関）

2016年（平成28年）3月13日（水）までの段階では、次のプランで九州踏破（下関～鹿児島）を考えていたが、生憎3月14日の熊本地震の影響で、予定を6割カットし、下関から博多までの営業キロ84.5kmにした新たな計画を組み直す。それ故、4月29日の緒方昭則氏宅の訪問、スカイマークの福岡便そして熊本東横インをキャンセルする。キャンセルを実行したのは、群発地震が一向に収束できそうにないこと、また、熊本・大分地区の被災地の皆様等を配慮し、4月18日（月）に決断。飛行機搭乗券で6,500円キャンセル代を要したが、いい英断であった。よく搭乗券の注意書きを読んだものだ。キャンセルの効力は10日前までとあったからだ。

第1節 旅プラン

<当初の九州旅行プラン>

2016年4月29日（金）友人宅 飛行機で博多まで 在来線で久留米まで移動

SKY009 便 羽田11:15→福岡13時10分

4月30日（土）熊本泊 久留米～大牟田（33.6km）

久留米～荒木～西牟田～羽犬塚～築後船小屋～瀬高～南瀬高～渡瀬～吉野
～銀水～大牟田

5月1日（日） 熊本泊 大牟田～田原坂（32.7km）

大牟田～荒尾～南荒尾～長洲～大野下～玉名～備後伊倉～木葉～田原坂

5月2日（月） 熊本泊 田原坂～熊本（16.4km） 熊本城観光

田原坂～植木～西里～ 崇城大学前～上熊本～熊本

5月3日（火） 博多泊 新幹線で久留米まで移動 久留米～博多（35.7km）

久留米～備前旭～鳥栖～田代～弥生が丘～基山～けやき台～原田～天拝山～二日市
～都府楼南～水城～大野城～春日～南福岡～笹原～竹下～博多

5月4日（水） 博多泊 赤間～博多（31.7km）

赤間～東郷～東福岡～福岡～千鳥～古賀～ししぶ～新宮中央～福工大前～九産大前～
香椎～千早～箱崎～吉塚～博多

5月5日（木） 小倉泊 赤間～小倉（35.5km）

赤間～教育大前～海老津～遠賀川～水巻～折尾～陣原～黒崎～八幡～スペースワールド

～技光～戸畑～九州工大前～西小倉～小倉

5月6日（金）実家泊 小倉～門司～関門海峡～下関 新下関から岡山まで新幹線

熊本東横イン（吉村） 096-351-1045

博多東横イン(山下) 092-451-1045

小倉東横イン（谷口） 093-541-1045

<新たな計画>

5月4日（火）からは、主として当初のプランと同じ。ただし、5月6日（水）が雨模様であったので、リュックを小倉駅のコインロッカー（1725：単価 300 円）に預けるプランに変更して臨むことにする。従って、新幹線の乗車は新下関ではなく、下関から門司経由で小倉駅まで在来線で戻り、そこから岡山駅経由で香川の実家に向かうプランとする。結果、ここでもいい英断をしたと。小倉からはこだまの他、のぞみなどがあるからだ。加えて、小倉の方が、新下関に比べ3倍位アクセスが多いからだ。具体的には5月3日の新横浜から博多まで、5月6日の小倉から岡山まで、そして5月8日の岡山から新横浜までの新幹線のダイヤは次の通り。



新横浜駅

博多駅

○5月3日（火）

のぞみ 29 号 新横浜 11：49→博多 16：39（11 番 11 号 D 席）

新横浜から博多までの往復乗車券：24,300 円

岡山から高松までの往復乗車券：3,020 円

新横浜から博多までの特急券：9,330 円

岡山から新横浜までの特急券：6,860 円

小倉から岡山までの特急券：4,820 円

5月4日(水) 博多泊 赤間～博多(31.7km)

赤間～東郷～東福岡～福岡～千鳥～古賀～ししぶ～新宮中央～福工大前～九産大前～
香椎～千早～箱崎～吉塚～博多

5月5日(木) 小倉泊 赤間～小倉(35.5km)

赤間～教育大前～海老津～遠賀川～水巻～折尾～陣原～黒崎～八幡～スペースワールド
～技光～戸畑～九州工大前～西小倉～小倉

○5月6日(金) 実家泊

小倉～門司～関門海峡～下関 新下関から岡山まで新幹線
のぞみ38号 小倉14:48→岡山16:15(・・・・)

○5月8日(日)

のぞみ24号 岡山12:49→新横浜15:55(5号車10番D席)

第2節 1日目：5月3日（火）；博多まで移動 晴れ／雨／曇り

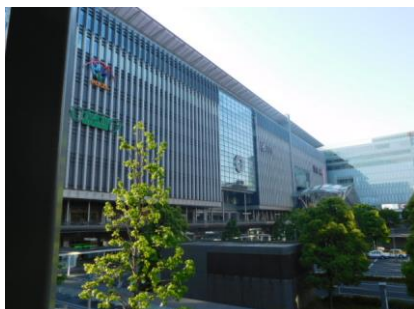
自宅を10時20分頃出て、家内に中央林間まで送ってもらう。11時過ぎ新横浜駅に到着。新横浜駅11時49発ののぞみ29号で博多駅へ。福山駅辺りから天気が悪くなり、広島駅から雨マークとなる。徳山から厚狭（あさ）までの区間で、強風等の影響で停止または徐行運転した関係で、30分程度遅れる。しかし、小倉辺りから天気が回復し、博多に着く頃には晴れマークとなる。新大阪までは隣のE席（若い女性）は埋まっていたが、それ以降博多までは隣の席は空席であったので、ゆったりした気分で博多まで移動することができる。博多駅には17時8分到着。そして、東横イン博多口駅前には17時半頃到着。部屋は14階建ての最上階の1414号。一泊は無料券があったので5,748円の宿泊代ですむ。夕食はホテル近くのビルB1の「きんさい屋」で、お好み焼き（葱一杯）と生ビールを頂く。



博多駅



東横イン



第3節 2日目：5月4日（水）：赤間～博多 快晴

5時半頃起床。6時半、ロビーで朝食を済ませ、ホテルを7時過ぎ出る。7時28分発の快速小倉行（1番ホーム：7両編成）で赤間駅に向かう。運賃650円を要する。快速電車（始発：鳥栖駅）は、途中吉塚、千早、香椎（かしい）、福工大前、古賀、福岡、東郷と停車する。吉塚から千早の間に川があった。赤間駅には8時0分到着。赤間駅には各駅停車の門司港行が待ち合わせていた。赤間駅の北口を写真に収めて、8時9分、東郷駅を目指してスタートする。鉄道に沿って歩く。8時17分、橋桁に浦島太郎と記した箇所から右折し、幹線道路に合流する。8時50分、早く曲がり過ぎ、行き止まりとなり、農道を通り再度幹線道路に合流する。9時6分、高校のグラウンド付近の鏡前で自身の写真を撮る。9時11分、清水踏切を横切り、鉄道の左側となる。ここから鉄道に沿った遊歩道を歩く。この歩道は、清水踏切前で自転車に乗った年配の方に教えてもらう。



博多駅



赤間駅

浦島太郎の壁画



高校のグラウンド付近

東郷駅

9 時 26 分、東郷駅（日の里口）に到着する。 暫く、鉄道の左側を歩く。右手には小高い山と田園が広がっていた。10 時、道路下にため池があった。10 時 1 分、沖の原踏切を横切り、鉄道の右側に出る。幹線道路(県道 97 号)に出た先に白水峠（西鉄バス）があった。10 時 12 分、福岡まで 27 km の地点（小竹西）に到達。10 時 20 分、東福岡駅に到着。 それにしても風強し。帽子が飛ばされないように注意する。11 時、福岡駅に到着する。



白水峠

東福岡駅

福岡駅

11 時 11 分、川が絡み複雑な地形に入る。20 分位、同一箇所を一周する。11 時 35 分、迷いかけた地点に戻り、再出発。11 時 38 分、幹線道路に出る。11 時 48 分、古賀市に入る。11 時 56 分、ようやく道路の高架下にある千鳥駅に到着。 12 時 15 分、門司から 55 km 地点 (495 号線) に到達。直ぐに近くの民家には鯉のぼりが泳いでいた。12 時 32 分、古賀駅に到着する。



千鳥駅

門司から 55 km 地点



鯉のぼり



古賀駅

12時54分、古賀の商店街を出るところで、食堂富士を見つけ、昼食（アジフライ定食）とする。ここで20分位休息する。昼食を摂った関係で、距離感を失念する。日吉という交差点を右折すべきところ誤って、1km行き過ぎる。西鉄バス（新宮支社）で新宮バス停に到達したところ。もしかすると行き過ぎたのではないかと心配したところ、この心配事が当たる。極め付けは、上の府バス停で、バスを待っている方に確認し、10分位行き過ぎていることが確定する。小走りでリカバリーする、13時45分、高台にある日吉神社経由でししぶ駅（西口）に到着する。



古賀の街並み



食堂富士



日吉神社



ししぶ駅

13時56分、西鉄バス停前通過。そして間違いに気づいた上の府バス停に到着。14時19分、駅間がゆったりした新宮中央駅に到着。14時47分、福工大前に到着。15時37分、九産大前に到着。15時56分、濱男橋を通過。15時57分、ラウンジ青柳前を通過。16時、カッシー館と発音が似ている香椎（かしい）駅に到着。この駅から香椎線があった。駅前には昭和時代の駅前の写真が展示されていた。



西鉄バス停前



新宮中央駅



福工大前駅



九産大前駅



香椎駅



昔の香椎駅近郊



16時15分、西鉄の香椎宮前駅前を通過。ここから暫く西鉄とJRと合体した高架下を歩く。16時27分、JR西鉄千早駅に到着。



香椎宮前駅（西鉄）

千早駅

16時51分、JR線、西鉄共に高架でなくなる。名島踏切辺りでJR線・西鉄の線路を渡るかどうか躊躇する。1分位行った先で多々良川が横切っていることを確認し、引き返して名島踏切を渡る必要性を感じる。16時58分、この踏切を横切り鉄道の右となる。門司から74km地点と記した国道3号線に出る。17時1分、名島橋（多々良川）を渡る。万歩計で354歩あった。17時7分、博多臨港線多々良架道橋を渡る。ここから箱崎駅が実に遠かった。何にもの人に聞きながら進む。17時24分、西鉄の貝塚駅があった。17時35分、九州大学前を通過。17時40分、箱崎九大前駅を通過。17時53分、やっとのことで箱崎駅に到着する。18時7分、馬出（まいだし）御所ノ内公園を通り、吉塚駅には18時17分到着。



箱崎駅への路

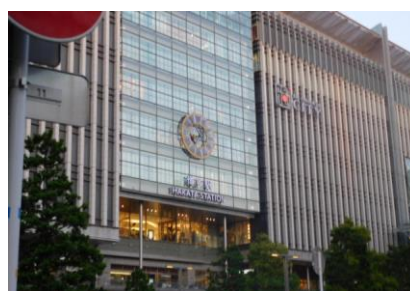


箱崎駅

風は依然強し。18時37分、万歩計で91歩ある御笠川（緑橋）を渡る。18時41分、承天寺通りを通過し、博多駅には18時54分到着。ホテルには19時2分到着。一服して、ホテルの紹介のさかなつ場（玄海灘の魚）で一杯やる。本日の営業キロは31.7km、万歩計で72,521歩。本日は快晴であったが、終始強風の日であった。当初の予定をクリアでき、充実した一日であった。



吉塚駅



承天寺通り

博多駅

第4節 3日目：5月5日（木）：赤間～小倉 晴れ

5時過ぎ起床。6時半ホテルロビーで朝食を済ませ、7時前にホテルチェックアウト。本日は昨日に比べ、荷物を背負ってのウォーキングとなる。昨日より、1本早い快速電車（7時10分：5番ホーム）に間に合う。白ばい車両であった。座席は昨日のようなボックス席ではなく、対面形式の席であった。



博多駅



赤間駅

赤間駅には7時48分到着。昨日と同様、門司港行の各駅停車の電車が待ち合わせていた。8時18分、教育大学前駅に到着。ここから海老津駅を目指し山間を歩く。8時38分、吉竹口を通過。8時40分、門司まで44km地点を通過。8時52分、城山峠バス停前を通過。8時56分、宗像市（むなかた）から岡垣町に入る。9時14分、赤鳥居前を通過。9時26分、母の家バス停前を通過。右手に鉄道を確認する。9時31分、海老津中村交差点で信号待ちとなった瞬間、普通乗用車が軽乗用車に衝突する瞬間に出くわす。「ドーン」という音がし、ビックリする。後発の運転手の前方不注意と思われる。9時34分、鯉のぼりをデジカメに収める。9時40分、壁面に成田不動寺等を描いた地点に到達。階段を上がって直進した先に海老津駅（9時44分）があった。駅舎は高台にあった。駅前には岡垣バードカービングクラブ作品展があった。剥製にした鳥が飾られていた。高校の先輩に教わった鳥も飾られていた。



教育大前駅 福岡教育大学



海老津駅への路



海老津駅

9時53分、白谷踏切を横切って鉄道の右側を歩く。9時58分、ため池前を通過。10時5分、戸切小学校前を通過。10時16分、田植えを終えた水田、これから田植えする水田前を通過。10数年前、父が健在にあった頃、ゴールデンウィークには田植えの手伝いに帰省した懐かしい思い出が蘇る。10時23分、秋藤交差点に入る。10時30分、国道3号線の交差点にぶつかる。左手は福岡、右手は北九州方面と表示されていた。右手に進む。10時45分、遠賀高校（おなが）前を通過。10時53分、別府中央辺りに遠賀川駅を店舗先の方に確認する。「真っ直ぐ進んで下さい」とのコメントをもらう。10時55分、遠賀町別府コミュニティバス停前を通過。11時8分、99歩ある西川橋を渡る。11時15分、やっとのことで遠賀川駅に到着。



海老津駅



別府 遠賀川駅

駅舎には、鯛焼「甘党屋」があった。11時32分、587歩ある遠賀川（遠賀川橋）を渡る。11時37分、水巻町に入る。そして、通算営業8,500kmを踏破した水巻駅には、11時58分到着。駅前の掲示板には「稲作発祥の地」とあった。



水巻駅

ここから、折尾駅への路がややこしかった。日吉歩道橋を通過し、また戻る。歩道橋から折尾駅への表示が道路に記されていたからだ。12時22分、折尾駅へのバスが前方のバス停に止まり通過して行く。やっとのことで、折尾駅北口に12時39分到着。駅前は工事中であった、この駅には筑豊本線（若松線）が合流していた。



折尾駅への路



折尾駅

ここから、陣原駅への路も神経を費やす。何人もの人に聞きながら進む。13時13分、本陣橋を通過。13時16分、陣ノ原踏切を横切り、鉄道の右側に出る。13時19分、鯉のぼりを見かける。13時29分、陣原駅に到着。思ったより、やさしかった。13時39分、鉄道に沿って煙突を見かける。13時54分、筑豊線の踏切を横切る。ここから、黒崎駅までJR線と並走する。14時15分、すき家で遅い昼食を摂る。14時19分、筑豊線の熊西駅前を通過。JR線と筑豊線の合流した黒崎駅には、14時36分到着。井筒屋に続く2階にJR黒崎駅への改札口があった。駅前には、北九州銀行、佐賀銀行、福岡ひびき信用金庫があった。井筒屋の2階通路は300mから400m位続いていた。14時49分、門司まで25km地点を通過。



陣原駅への路



陣原駅



黒崎駅への路



黒崎駅



15時23分、八幡駅に到着。駅前には4つの鉄の羽のようなものがあつた。15時24分、ヤシの並木路を通過。15時46分、いのちのたび博物館前を通過。15時58分、駅前に遊園地をもつスペースワールド駅に到着。線路に沿って歩き、枝光駅には16時18分到着。16

時 28 分、JR 線下を潜り鉄道の左側を歩く。16 時 44 分、牧山とうい交差点で JR 線下（青い陸橋）を潜る。16 時 50 分、おうま橋（天籟寺川）を渡る。16 時 53 分、戸畑警察署前を通過。16 時 55 分、イオンがあった。



八幡駅への路 八幡駅



スペースワールド駅



枝光駅への路 枝道駅

16 時 59 分、戸畑駅に到着。 17 時 38 分、九州工大前駅を通過。 18 時 2 分、真颯館高校前を通過。18 時 17 分、磯の町踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。高速道路下に沿って歩く。18 時 22 分、56 歩あるいたびつがわ（港橋）を渡る。18 時 34 分、在来線と新幹線が合流する。18 時 38 分、門司 12 km、下関 20 km の道路標識前を通過。やっとのことで、18 時 42 分、西小倉駅への陸橋を見つける。その先に西小倉駅（18 時 44 分）があった。 18 時 51 分、138 歩ある室町大橋（火の橋）を渡る。飲み屋街の通りを通り、18 時 59 分、小倉駅に到着。 東横イン小倉駅新幹線口ホテル(408 号室)には 19 時 25 分到着。ホテルの場所の確認で少し時間を要す。少し休憩し、ホテルからの紹介で、駅前のごつつあん（玄海灘の地魚と天ぷらの大衆酒場）で夕食とする。本日の営業キロは 35.5 km、万歩計は 72,361 歩。本日

はリュックを背負って歩いたため、昨日に比べ疲労が残った。それ故、足腰の疲れを癒すために、マッサージを 1 時間願う。いわきの東横イン以来。足の疲れが癒される。充実した一日であった。



おうま橋



戸畑駅



九州工大前駅



港橋



下関まで 20 km



西小倉駅への通路



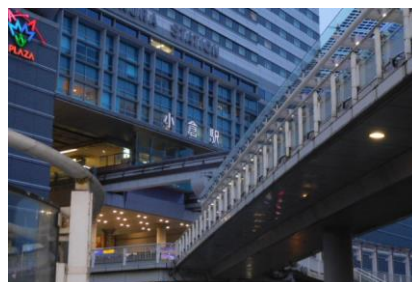
西小倉駅

第 5 節 4 日目 : 5 月 6 日 (金) : 小倉～下関 雨/曇り

5 時起床。6 時半ホテルロビーで朝食を済ませ、7 時 20 分チェックアウト。20 分位かけて小倉駅前風景をデジカメに収める。小倉駅南口にモノレールがあるのにはビックリする。本日は雨模様のため、当初の予定を急遽変更する。結果的にいい英断をした。すなわち、リュックを背負って下関まで歩くのではなく、小倉駅のコインロッカー (1725) に預けて、下関まで歩き、在来線で小倉まで戻り、小倉から岡山まで新幹線に向かうプランを選定する。新下関はこだましか止まらないのに加え、ダイヤも少ない、また、下関から新下関に向かう在来線の本数は少ないからだ。



小倉駅への路



小倉駅



東横イン



門司駅への路

門司駅

7時40分、小森江駅を目指す。暫く行った先に新幹線を潜った先で、在来線の進行方向がわからず、バス停前で待っている方に門司方面の道筋を確認して進む。今歩いている道路を直進すればいいとのことであった。雨の中のため用心深くなる。8時22分、小倉延命寺郵便局前を通過。8時28分、鳥栖行の電車と対面する。8時36分、全長72mの手向山トンネルを通過する。ここから門司港レトロまで9kmとの標識があった。9時10分、門司駅に到着。門司駅の駅員さんに関門海峡トンネル歩道とトンネルを出た先の道筋を確認する。加えて、博多から熊本までの在来線と幹線道路などを確認するが、あやふやな回答部分もあり、少しがっかりする。「誰からも聞かれそうなのは、鋭意努力すべき」と。これは昔上司に教わった教訓……。9時52分、小森江駅に到着。駅前には矢筈山の観光案内があり。ここから折りたたみ傘をしまう。小雨模様から曇り空となり、歩きやすくなる。



下関への路



小森江駅

10 時 11 分、門司区小森江二で門司港レトロ・関門海峡めかり行のバスが通過して行く。10 時 31 分、左手に関門海峡が見えて来る。10 時 50 分、門司港駅車両基地が左手下に見えて来る。10 時 55 分、九州鉄道記念館前を通過。11 時 8 分、門司港駅前に到着。ここから関門海峡めかりまで鉄道があり、トロッコ潮風号（門司港レトロ観光列車）が走っていることを、現地の人に教えて頂く。駅前には人力車が一台あった。11 時 23 分、出光美術館駅先で潮風号をデジカメに収める。



門司港駅への路



門司港駅



ここから踏切を横切って遊歩道を歩く。この道筋は出光美術館駅先で教えてもらった。11 時 25 分、ボールペンのシンをロストする。それ故ここから 12 時 45 分まで記録できず。これが今回のメードドラマになるかも知れない。関門海峡の海辺をメモしようとしたところ、ボールペンの先が突然本体から分解される。ボールペンの芯を辺り一面探すが見つからず。珍しい出来事に遭遇したものだ。11 時 41 分、ノーフォーク広場駅前を通過。この先で先程私を追い越して行った潮風号と再度対面する。何人もの人にききながら、関門海峡トンネル歩道を目指す。前方に関門海峡ブリッジが大きく見えて来る。11 時 54 分、和布

刈神社前を通過。11 時 57 分、関門海峡トンネル人道入口前に到着。ここから、地下までエレベータで下りる。12 時、780m 続く人道のスタート地点に到達。人道内で数十人の人と対面する。ジョギングしている人もいた。壁面には海水の風景が描かれていた。12 時 5 分、福岡県と山口県の県境に到達する。壁面には関門海峡トンネルの案内があった。12 時 10 分、門司と称した地点に到達する。12 時 12 分、再度関門海峡トンネル人道入口（下関側）に到達する。



レトロ観光線



関門海峡トンネルへの路



ここから、国道 9 号線（海岸線に沿って続く）を歩いて下関駅を目指す。12 時 14 分、源義経、平宗盛像前を通過。その先に“みもすそがわ”と記した赤橋と壇の浦古戦場址があった。12 時 19 分、立石稻荷明神前を通過。12 時 22 分、下関市壇の浦町を通過。12 時 28 分、赤間神宮前を通過。12 時 34 分、下関市地方卸売市場「唐戸市場」前を通過。12 時 45 分、ファミリーマートに立ち寄り、シャペンを購入する。12 時 51 分、はいからっつと横

丁（遊園地）前を通過。13時5分。海峡ゆめタワーが見えて来る。13時7分、ふぐの像がある公衆電話ボックス前を通過。その先に東横インが見えて来る。



関門海峡トンネル



壇の浦古戦場址

下関駅には13時21分到着する。5年前と駅舎風景が異なっていた。これで、青森から博多までが「鉄道つたい歩き」にて繋がる。13時31分の電車で小倉駅を目指す。13時56分、小倉駅ホーム内の店でかき揚げそばを昼食として摂る。小倉発14時49分のもぞみ38号で岡山経由にて香川の実家を目指す。香川の実家には18時43分到着。母親が夕食を準備してくれていた。香川名産の醤油豆をベースに祝杯をあげる。本日の営業キロは17.3km、万歩計は43,384歩であった。6割カットした当初のプランが無事達成できホットする。これで、日本縦断の踏破まで小樽＝函館間と博多＝熊本間に迫る。充実した3日間であった。



立石稲荷大明神



下関の象徴 ふぐ



下関駅



小倉駅